

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	5	学校名	高円・高円芸術高等学校
----	---	-----	-------------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	奈良県学生吹奏楽フェスティバル2022
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	音楽科の生徒による実習授業（成果発表会）として実施。自主的に演奏会を企画運営し、主体的に活動することで、社会形成の一端を担うことを図る。
連携・協働相手	イモンモール大和郡山
地域と共有している目標・課題等	音楽科の生徒の専門技術向上、演奏会を主体的に運営し、活動することで、社会形成の一端を担うこと、コミュニケーション能力や社会性の育成を図ること。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>音楽科の生徒が、日頃の実技授業の成果を発表することを目的に、広く保護者、地域、学校関係者の方々に聴いていただく機会となるようコンサートを行った。実施にあたっては、事前に選曲、演出、留意事項などについて、代表生徒と施設職員が打ち合わせを行った。生徒が主体となり運営進行を行った。運営や演奏を通して、コミュニケーション能力や社会性を育む機会となった。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>日頃の授業の成果を発表し、地域の方々に演奏を聴いていただくだけでなく、生徒が主体となり、運営進行を行うことで、地域とのつながりや自分自身の課題や目標をより感じることができた。また、事前の打ち合わせから運営に携わったからこそ、自分自身が現状できる事を客観的に考えることや、コロナ禍の今、コミュニケーションを図ることの重要性について、深く学ぶことができた。</p> <p>今後も、活動の場を狭めることなく、最大限できることに尽力し、音楽と地域の繋がりや、生徒の社会性を培う事業として取り組む方法を生徒主体で模索していきたい。</p> <p>【生徒の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習段階から、いつも以上に緊張感を持って励むことができた。一人一人の音作りや音楽に向かう姿勢を養う時間にもなりました。 ・地域の方々だけでなく、普段聞いていただくことのない方々にも音楽を届ける機会となり、嬉しかった。

